

# 町長日誌

(11月1日～30日)



|       |  |
|-------|--|
| 11月4日 | 道の駅多古出品者協議会役員視察研修(山梨県)                         |
| 5日    | 圏央道建設促進県民会議駅頭キャンペーン(成田市)                       |
| 6日    | 市川市民まつり(市川市)                                   |
| 7日～9日 | 町民ふれあい号の旅(福岡県・山口県)                             |
| 10日   | 小中学校児童生徒音楽会                                    |
| 11日   | 老人クラブ連合会チャリティーグラウンドゴルフ大会<br>県町村長自治研修会(東京都)     |
| 12日   | 県町村会定例会(東京都)                                   |
| 14日   | 芝山はにわ祭(芝山町)                                    |
| 15日   | 県国民健康保険団体連合会理事会(千葉市)<br>総合振興審議会                |
| 16日   | 成田用水事業推進協議会(成田市)                               |
| 17日   | 成田空港圏自治体連絡協議会視察研修会(東京都)<br>知事と市町村長との意見交換会(千葉市) |
| 19日   | 東京電力(株)成田支社防犯灯寄贈式                              |
| 21日   | 栗源のふるさとも祭(香取市)                                 |
| 25日   | 区長会議   |
| 29日   | 町議会臨時会・全員協議会                                   |
| 30日   | 介護保険事業計画推進協議会                                  |

## 保健福祉課からのお知らせ

### 子宮頸がん・ヒブ(Hib)・肺炎球菌(小児)

## 予防接種費用を全額助成します!

町では、子宮頸がん、ヒブ(Hib:インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌(小児)の3つの予防接種について、2月1日以降に町内委託医療機関にて行う接種費用を全額助成します。

なお、これらの予防接種は「任意接種」となりますので、本人またはその保護者の理解と同意が必要です。接種の際はその効果や副反応について医師と相談してください。

助成方法など詳細については、広報たこ2月号でお知らせします。

### 子宮頸がん

日本では年間約15,000人が子宮頸がんにかかり、そのうち3,500人ほどが死亡していると推測されています。

ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスに感染することが原因で発症するといわれています。

子宮頸がんの予防には、ワクチン接種だけでなく、併せて検診を実施することが望ましいとされています。

【助成対象】 中学校1年生～高校2年生の女子

【接種回数】 6カ月の間に3回

### ヒブ(Hib:インフルエンザ菌b型)

脳や脊髄を包んでいる髄膜に細菌やウイルスが感染し、炎症が起こる病気が髄膜炎です。

乳幼児が髄膜炎を起こす原因の半数以上を占めているのが「インフルエンザ菌b型」という細菌で、略して「Hib(ヒブ)」と呼ばれています。

細菌性の髄膜炎には5歳未満の乳幼児がかかりやすく、日本では年間約600人が感染しています。また、治療を受けても約5%(年間約30人)の乳児が死亡し、約25%(年間約150人)に難聴や発育障害などの後遺症が残るといわれています。

ワクチンの接種により、b型インフルエンザ菌による感染症(髄膜炎や肺炎など)を予防できるとされています。

【助成対象】 生後2カ月～5歳未満

【接種回数】 1～4回 (年齢によって接種回数や接種期間が異なります。)

### 肺炎球菌(小児)

小児用肺炎球菌ワクチンは、生後2カ月以上9歳以下のお子さんへの接種が可能ですが、特に乳児期に接種することが望ましいといわれています。

ワクチンの接種により、肺炎球菌による重い感染症(細菌性髄膜炎、菌血症など)を予防できるとされています。

【助成対象】 生後2カ月～5歳未満

【接種回数】 1～4回 (年齢によって接種回数や接種期間が異なります。)

## 安全に役立つ『防犯灯』を寄贈

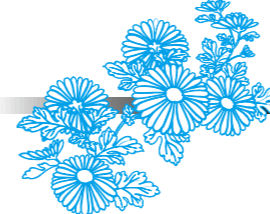
社会貢献活動の一環として各市町村へ防犯灯を寄贈している東京電力(株)成田支社から今年度、防犯灯5基が町に寄贈されました。

これらの防犯灯は多古中央病院や常磐幼稚園の周辺などに設置される予定です。



～ 多年にわたる功績をたたえて ～

## 秋の褒章おめでとうございます



### らんじゆ 藍綬褒章受章



川口 勤二さん(高根・76歳)

「思いも寄らないことで驚きましたが、とても光栄なことと感じています。妻や家族の協力、先輩方のアドバイスのおかげで、これまで保護司を続けることができました。今後も、明るい社会づくりに貢献していきたいと思えます」

### おうしゆ 黄綬褒章受章



飯田 昭八さん(仲町・77歳)

「受章の知らせを聞いた時は、大変驚きました。昭和24年から始めた酒類販売業をこれまで無我夢中で続けてきました。今後も、これまで支えてくれた妻や家族、従業員の皆さんと協力しながら、この仕事を続けていきたいと思えます」

このほど、平成22年・秋の褒章受章者が発表され、多古町からは、(株)飯田酒店会長として酒類販売業に精励された飯田昭八さんが黄綬褒章を、保護司として更生保護に尽力された川口勤二さんが藍綬褒章を受章しました。

## 『多古町総合計画(素案)』へのご意見をお寄せください

町では、平成23年度を初年度とする、新たなまちづくりの指針となる『多古町総合計画』の策定作業を進めています。

総合計画の策定に当たっては、町の将来像や政策の方向を定める「基本構想」、基本構想を実現するための基本的な施策を示す「基本計画」について、多くの町民の皆様からご意見を伺い、計画に反映させていきたいと考えています。

これまで「町民アンケート調査」「まちづくり懇談会」「まちづくりワークショップ」などを実施しながら計画づくりを進めてきましたが、このたび『多古町総合計画(素案)』がまとまりましたので公表します。内容についてご確認の上、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。

- 意見募集する資料 多古町総合計画(素案)
- 閲覧・意見募集の期間 1月14日(金)～2月4日(金)
- 閲覧の方法
  - ①企画財政課窓口での閲覧 (土・日を除く午前8時30分～午後5時15分)
  - ②町ホームページからの閲覧 (http://www.town.tako.chiba.jp/)
- 意見の提出方法 住所・氏名・電話番号をご記入の上、直接持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかにより提出(様式は問いません)
- 意見の提出先 多古町役場企画財政課企画空港対策係(〒289-2292 多古町多古584番地) FAX 76-7144 電子メール kikaku-kuukou@town.tako.chiba.jp



- 提出された意見を十分考慮し、意思決定を行います。
- 原則として、提出された意見と、これに対する町の考え方を公表します。
- 提出された意見を考慮して案を修正した場合は、その内容と理由を公表します。
- 電話による受付や、提出された意見に対する個々への回答はいたしません。

お問い合わせ ● 企画財政課企画空港対策係 ☎ 76-5409